

クリニカルパス通信



クリニカルパスとは？

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様ができる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

クリニカルパス アンケート報告

-現在の取り組みについて-

平成29年2月8日(水)

救急外来 磯邊 千賀子

ミニパス大会より

2月10日(金)に今年度3回目のミニパス大会を開催しました。

1. こんなパスありました！ クリニカルパス学会報告

演者： 外科 木戸川秀生

昨年11月に金沢にて開催されたクリニカルパス学会でみかけた様々なパスについて紹介しました。小児科のパスや看護パスなど興味深い発表が沢山ありました。

2. クリニカルパス アンケート報告ー現在の取り組みについてー

演者：救急外来 磯邊千賀子

全看護職員に対してアンケート調査を行った結果を報告していただきました(回収率94%)。まだまだ病棟によってパス認知に差が大きいことを実感しました。パス通信の認知度も低いみたいですね・・・。

今回のミニパス大会は44名の職員に参加していただきました！



目指せ100個！



現在運用中のパスは80個

内科	2
外科・呼吸器外科	49
形成外科	13
眼科	4
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	1
看護科	5

思いやり クリニカルパス

— 明るく 優しく 健やかに —

2017 12.1(金) ~ 2(土)

会場 大阪国際会議場

会長 山中英治 (社会医療法人若弘会 若草第一病院 院長)



2017年クリニカルパス学会のお知らせ

◆ 平成29年12月1日～2日

◆ 場所：大阪国際会議場

次回クリニカルパス学会においても是非とも当院から発表したいと思います！

新規パス紹介

2月10日のパス委員会にて新しく5のパスが承認されました！

1. 肝ラジオ波凝固療法（外科・呼吸器外科）

肝腫瘍に対するラジオ波凝固療法パスです。開腹でも経皮的穿刺でも使用できます

2. 肝切除（外科・呼吸器外科）

前日入院で手術後12日目以降に退院可能としてます

3. 急性胆嚢炎保存療法（外科・呼吸器外科）

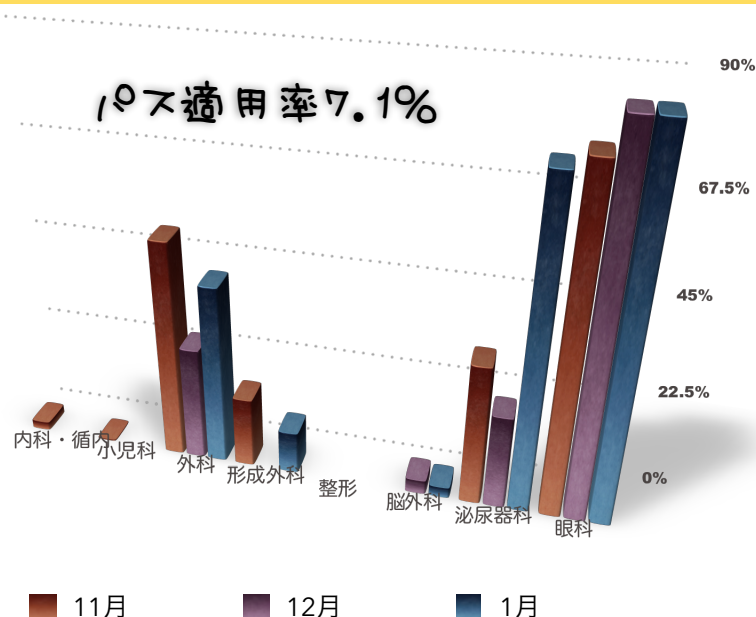
10日間のパスです。手術を行う場合は胆嚢切除パスへ移行します。

4. 胃全摘前日入院（外科・呼吸器外科）

前日入院、食事は4日目から開始します。手術10日目以降退院可能です

5. 軽症外症（外科・呼吸器外科）

外傷で救急搬送された患者さんで安静目的入院パスです



病院全体のパス適用率は7.1%と前回より倍増しました！